

温室効果ガス削減目標を定める中小企業版SBT(SBT-SME)認定取得に関するお知らせ



SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2025年3月、山藤三陽印刷株式会社は、温室効果ガス排出量削減目標について、中小企業版SBT*1(SBT-Small and Medium-Sized Enterprises)の認定をSBTi*2より取得しましたことをご案内いたします。

脱炭素社会の実現に向けて、積極的なCO2排出削減に取り組めます。

*1 SBT(Science Based Targets)とは「科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出量削減目標」。

*2 SBTi(Science Based Targets Initiative)は、WWF(世界自然保護基金)、CDP(気候変動に関するNGO)、WRI(世界資源研究所)、国連グローバル・コンパクト(UN Global Compact)による共同イニシアチブで、パリ協定の目標達成(世界の平均気温の上昇を産業革命以前の水準から1.5度に抑制する努力をする)に向けて、企業によるSBTを設定することを支援・認定しています。

温室効果ガス(GHG)排出量削減目標

当社は、2020年を基準年として、2030年までにスコープ1およびスコープ2のGHG(温室効果ガス)排出量を42%削減すること、さらにスコープ3の排出量を測定し削減することをコミットいたします。

Our company commits to reduce absolute scope 1 and scope 2 GHG emissions 42% by 2030 from a 2020 base year, and to measure and reduce its scope 3 emissions.

【CO2排出区分の定義】

スコープ1：自社によるLPG・ガソリン・軽油の使用によるCO2排出量

スコープ2：他社から供給される電気の使用によるCO2排出量

スコープ3：事業活動に関連する他社のCO2排出量

これにより、気候変動を経営における重要課題のひとつとして認識しており、本目標の達成に向けて様々な取り組みを展開しております。今後も、2050年度までにカーボンニュートラル実現と当社企業価値の向上を目指し、サステナブル経営を推進してまいります。



山藤三陽印刷株式会社

sandosanyo